



2月13日(金)に第4回学校運営協議会を実施しました。

今年度を締めくくる第4回ということで、今年度の学校評価や次年度の学校経営方針について、様々な御意見、御質問が出され、活発な話し合いが行われました。



《報告・熟議の内容》

《報告》①今年度の出願状況 ②国際交流プログラムの実施状況
③探究活動「土手町リバイバル」 ④探究活動「ツガタン」

《熟議テーマ》①学校評価 ②次年度の学校経営方針
③今年度の学校運営協議会の総括 ④今年度の学校運営技協議会を終えて
⑤次年度の学校運営協議会について

～本日の内容について、委員からの御意見、御質問～



今年度の会議はこれで終わりますが、ここの学校の生徒は、何かをすれば必ず返してくれる資質を持っている生徒なので、何とかですね、この学校を盛り立ててほしいと思います。

地域に生徒が出ていくということはあまりなかったことなので、継続して行ってほしいと思います。

総探の活動で海外の事例もあると思うが、日本の事例も比べてみると何か理由が見えてくることもあると思うので、グローバルな視点で進めてほしいと思います。

弘高のねぶた作り等が生徒の支えになって高校生活を過ごすことができていると思うので、豊かな人間性に近づいて成長していると思いました。

東青地区で1月の大雪の際に、オンライン授業を行った学校があったが、弘前高校でもそのような体制づくりは必要ではないか？

国際交流プログラムが用意できて、一連の流れができていて素晴らしいと思いました。

先生方がいろいろ一生懸命取り組んでいて、生徒を何とか活性化させてやろうという意図が見えるので、このまま進めていっていいと思います。



委員の皆様、1年間お疲れ様でした。来年度もよろしくお願いいたします。